

文 教 厚 生 常 任 委 員 会 記 録 簿				
会 議 日 程	令和7年8月27日 9：30～9：46			
場 所	瀬戸内町役場4階 議員控室			
出席委員	永井委員長	栄副委員長	柳谷委員	泰山委員
	里山委員			
欠 席 委 員				
説明のため出席した者の職氏名				
付 議 事 件	1. 所管事務調査「こども育成環境整備に関する調査」について			
	委員長報告について(意見取りまとめ)			
担 当 職 員 名	宮原書記	委 員 長 署 名	永井 しずの	
会 議 の 概 要				
永井委員長の進行				
<p>1. 会議の進め方と町民生活課との調整</p> <p>当初は本日の協議後に町民生活課を交えた意見交換を予定していたが、担当課側で内容を詰めるための協議が現在行われているため、その結果を受けてから話し合うこととなった。</p> <p>町民生活課の協議終了後、来週のお盆前を目処に、改めて担当課長や課長補佐を交えた意見交換の場を設ける予定である。</p> <p>2. 子供の育成環境整備に関する調査・意見書の取りまとめ</p> <p>意見の集約：委員各自がこれまでの視察や調査に基づき、3点前後の所感・意見を事務局へ提出する。提出期限は8月29日（金）の夜までとする。</p> <p>過去提出された文教厚生常任委員長報告（和4年9月）の意見書も参考にし、「子育てに関する窓口の一元化」「保育施設の民営化推進」「町独自の確保策（住環境の改善等）」といった継続的な課題についても再確認を行う。</p> <p>（永井委員長）今回の提言では、「こども家庭センター」の設置に特化して進める方針が確認された。多くの要望を一度に出すと進展が滞る懸念があるため、まずは町民生活課内に窓口を設置することを最優先すべき。</p> <p>（泰山委員）センター設置にあたって「どのような思いで子供と向き合うのか」という町の考えを示すために条例や言葉での明文化は大事である。</p> <p>⇒まずはセンター設置を先行させ、条例については段階的に提案していく流れとなった。</p> <p>3. 今後のスケジュール</p> <p>意見書の集約：8月29日に締め切った後、事務局と委員長で集約・整理を行い、案を作成する。</p> <p>最終報告：町民生活課との意見交換を経て、9月定例会の委員長報告に向けて内容を確定させる。</p> <p>4. 次期調査事項の検討</p> <p>次回の委員会での調査事項として、「介護関係」や「教育関係」を候補として検討していくことが示された。</p>				